

お 知 ら せ

平成23年2月11日
午 後 3時30分
大分県農林水産部

死亡野鳥（オシドリ）の高病原性鳥インフルエンザの疑いについて

平成23年2月10日に中津市耶馬溪町で衰弱した野鳥（オシドリ1羽）が発見され、本日、県の検査において高病原性鳥インフルエンザの疑いが確認されました。

経緯等は以下のとおりです。

※毒性の強弱は未確定

記

1 経 緯

- 2月10日・ 住民から衰弱した野鳥（オシドリ1羽）発見の連絡あり
- ・ 北部振興局職員が收容し、簡易検査を実施したが結果は陰性
- 2月11日・ 大分県衛生環境研究センターにおいて遺伝子検査を実施した結果、H5亜型陽性であることを確認
- ・ 本日、検体を鳥取大学に送付予定
- ・ 発見場所から半径10 Km 圏内に存在する養鶏農家（12戸）に対して、電話による確認の結果、異常がないことを確認

2 今後の対応

- ・ 県では、鳥取大学の確定検査の結果が出るまで、念のため、発見場所から半径10 Km 圏内の地域について野鳥の監視を強化します。
- ・ 家きんや卵などの移動制限はありません。

【問い合わせ先】

森との共生推進室 安東、玉田
電話：097-506-3870、3876

監視強化区域(10km)

H23.2.11

